

山口市男女共同参画センター だより

平成30年9月号

発行:山口市男女共同参画センター
編集:山口市男女共同参画ネットワーク広報委員会
〒753-0074 山口市中央二丁目5番1号(山口市民会館事務所2階)
TEL/FAX 083-934-2841 <http://www.y-djc.com/> [✉mw3kaku@c-able.ne.jp](mailto:mw3kaku@c-able.ne.jp)

ごあいさつ

山口市男女共同参画センター 所長 香川 早苗



本年4月に所長として参りました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、平成11年に男女共同参画社会法が施行されて以来、山口市では平成21年に男女共同参画の拠点施設として当センターが設置され、その後、平成25年には山口市男女共同参画条例も制定されました。

この間、男女共同参画社会の実現に向けての諸施策が展開され、今ではかなり理解も深まり、成果も着実にあがっていると思います。

しかし、山口市における女性の活躍状況を見ると、「議員に占める女性の割合」の全国平均は14.6%に対し、本市は6.3%と低調です。

また、「男性の育児休業取得率」の全国平均は16.7%に対し、本市は2.4%とかなり低くなっています。

「審議会委員に占める女性の割合」では、全国平均28.0%に対し、本市は30.4%と健闘していますが、1位の北九州市は52.5%と女性が過半数を超え、男

女がほぼ半々となっていることから、いろいろな場で男性と女性の意見がバランスよく反映されたうえで意思決定されているものと感じています。

ところで、先日、ニュージーランドの首相が出産後6週間の産休を取るとの報道がありました。

男女共同参画の先進国であるニュージーランドでは、女性の社会参加が進んでおり、国内は祝福ムードにあふれ、首相代行は副首相兼外相が務め、夫が育児に専念することを、議会も国民も納得している状況からは、女性の活躍は当たり前で、男女平等が広く国中に根付いていることが窺えます。

これに比べわが国の現状は、方針決定過程への参画をはじめとして、まだまだ後れを取っている感否めませんが、まずは、皆様の身近な施設である当センターの役割は、男女が性別に関わりなく社会の一員として尊重され、ともに認め合い、ともに支え合い、ともに輝いて生きるための拠点施設であることを念頭に置き、その目的が達成できるよう努めてまいります。

皆様方にはお気軽に団体やグループの交流にご活用くださいますとともに、センター事業や各種講座へのご参加もよろしくお願い申し上げます。

着任あいさつ

山口市男女共同参画推進室 室長 大村 克裕



4月に着任しましたセンター主幹の大村克裕です。人権推進課男女共同参画推進室との兼任になります。

これまでは阿東総合支所に勤務していました。その前は徳地図書館で、人権ということに関していうなら、以前に山口隣保館と三和児童館に3年勤めたことはあります。しかし、ちょうど「人権」という概念が大きく広がった時期に異動したため、男女共同参画については、これから学んでいくこととなります。

まったく目新しい部署で勤務するのは、市職員の定めのようなものです。そのため新しい職場で働き始める際に、自ら問うことがあります。それは自分

にとって、「その業務がなんなのか、そして相手にとってなんなのか？」ということです。それによって、自分ができること、やらなければいけないことを掴もうとします。

さしずめ今回は、「わたしにとって男女共同参画とはなにか?」、そして「あなたにとって男女共同参画とはなんですか」となります。そこから、自分は男女共同参画の何に取り組むのか、取り組めるのかを知ることが早急の課題です。

ところで、こと男女共同参画に対しては、国の力の入れようは並々ならないものを感じます。国から県、そして市という流れの中に私たちセンター職員はいるのですが、一国をあげて男女共同参画が主唱される背景には、大きく2つの動機があるように見えます。一つは女性差別撤廃条約からの流れ。これ

は日本という国が世界の動きにどう同調していくかということ。そして、もう一つが急激な少子高齢化により間近にせまった労働力不足を如何にしていくかという女性活躍推進法のそれです。

その中で市は何をしていくのか。今年度から動き出した第2次山口市男女共同参画基本計画の中で、

筆頭にあげている「意識づくり」が、やはり大切であると考えます。特に私が男だからかもしれませんが、男性の共同参画の意識を育むことを目指して、これからのセンターの業務に携わっていきたいと思っています。

どうぞよろしくをお願いします。

講座報告

講師派遣事業

連合山口主催「男女平等参画推進セミナー」

センターで新たに始まった講師派遣事業の最初の派遣先は、6/16(土)の連合山口主催「男女平等参画推進セミナー」でした。講師を務めていただいたのは、社会保険労務士の宇佐美理世さん。講演テーマは「男女がともにイキイキと働き続けられる環境づくりに向けて」です。

女性活躍推進法の施行から3年、職場における女性の活躍の現状とそれを阻んでいるもの、そして昨今注目されているハラスメントの問題、働き方改革とワークライフバランスなど、講師の熱意のこもった盛りだくさんの内容でした。70名余りの参加者からは「勉強になった」「セミナーの意義があった」という声に加え、知識を得ることや意識を変えることが重要だとの感想が寄せられました。



「働くママを応援！パパと子どもの料理教室」

6月30日(土)に、日本テトラパック(株)助成の「働く母親を応援する 男性・子どもの生活自立支援事業」として「働くママを応援！パパと子どもの料理教室」を実施しました。当日は大雨の中でしたが、1人の欠席者もなく12組26人のお父さんと子どもが参加してくれました。メニューは、ぺったんこむすびと3色ラップむすび、鶏肉のトマト煮、具だくさん豆乳みそスープ、ブルーベリーの牛乳かんの4品。

初めに、この料理教室が「男は仕事、女は家事育児」という性別役割分業の解消を目標に、お父さん

と子どもで食事が作れるようにとの願いで開かれることを聞いた後、講師の上杉照子先生から料理の手順の説明を受けました。子ども以上に真剣に先生に注目するお父さんたちが印象的でした。

調理に移ると、家族どうしでコミュニケーションを取りながら作業開始。中には、同じ班の子どもみんなを集めて切り方の見本を見せるお父さんの姿もありました。子どもたちはそれぞれお父さんにアドバイスをもらい、手を添えてもらったりしながら一生懸命にお料理に取り組みます。

さて、料理ができあがると、一緒に試食をする家





族も加わり、なんと総勢49人でにぎやかに食事タイム。食べている途中で日本テトラパック社の紹介映像の上映や、紙パックのリサイクルの実演があり、食後実際にみんなでパックを切り開く作業も体験しました。これらのパックはテトラパック社に送られ、リサイクルされます。そして協力して後片付けを終え、お土産を手に帰途につきました。

この日は盛りだくさんのメニューで手順も多かったことから、調理時間が予定をオーバーしてしまいましたが、参加者からは「子どもと一緒に料理ができたことがよかった」「料理の経験がないので知識の習得に役立った」という感想をいただきました。また、この講座が母親の家事・育児と仕事の両立につながると思ってくださった参加者が多かったことから、是非それぞれのご家庭でも家族で積極的に家事を分担してお母さんを応援していただきたいと願っています。

参画キーワード

「性別役割分業」

男女という社会的カテゴリーに付随した行動様式や態度を性役割という。最も一般的で伝統的とされる性役割は、女は「家事と子育て」、男は一家の「稼ぎ手」という家庭内の性役割である。家族の大黒柱は男性であり、女性は家事と育児を担当するという家庭内の性役割分担は、職場や地域など公的な場にも拡大され、女性は補助的で気配りの必要な職種や感情的ケアを扱う領域を受けもってきた。

1970年代以降の女性の運動は、男女の不平等の原因は性別役割の固定化にあるとして、その撤廃を最優先の課題として取り組んできた。

近年、社会進出する女性が増え、パートタイム就労を含むとかつてないほど多くの女性が職業を持つ。しかしながら、日本は男女の性役割分担を肯定する意見が他の先進国などに比べてなお多い。これらの女性の多くが、家庭では家事を担当しており、女性は「仕事も家庭も」という「新性別役割分業」が定着しつつある。

(ドメス出版『女性問題キーワード111』より)

クイズ

「私は保育士、パートナーはトラック運転手ですが仕事が忙しく、いっしょにしていこうと決めたはずの家事・育児はほぼ私がしています。別れようか悩んでいます。」

Q：さてこのカップルの夫の職業は？

※答えは4ページにあります



漫画で見る『男女共同参画』！

作者：山尾彩香さん

町内会編



山口市男女共同参画センター 今後の講座予定

男女共同参画講座

「さまざまな女性差別」

講師：山口県立萩看護学校非常勤講師
赤星 香魚氏
日時：10月6日(土) 13:30～15:30

パネルディスカッション

「もっと知りたいお国の事情」

パネラー：山口大学教授 何 曉毅氏
山口県立大学講師 朴 賢珠氏
日時：10月7日(日) 13:30～15:30

女性のための再就職支援セミナー

「働くうえで知っておきたい 制度・税制について」

講師：NPO法人コミュニティ友志会
代表理事 松永 朋子氏
日時：10月18日(木)10:00～12:00
対象：再就職希望の子育て中の女性

パネルディスカッション

「アクティブシニア その生き方を実体験から学ぶ」

パネラー：国際交流ひらかわ風の会
理事 板谷 源治氏
山口大学名誉教授 江里 健輔氏
中原中也記念館名誉館長
福田百合子氏
日時：10月20日(土) 14:00～16:00

※上記講座の会場はいずれも
山口市男女共同参画センターです。
参加費・託児は無料
(3日前までに要予約 6カ月～未就学児)

講師派遣事業を始めました

山口市男女共同参画センターでは、今年度より講師派遣を行なっています。テーマや内容など詳細はご相談に応じますので、お気軽にセンターまでお問合せ、お申込みください。



山口市男女共同参画センター事業

企業、事業所、団体のみなさまに

女性の雇用や働きやすい環境の整備がますます重要になっています。職場やグループの研修、学習会などに是非ご活用ください。

テーマ例 女性の活躍 男女共同参画 女性のキャリアアップ など	・各種セミナー ・女性活躍 ・男女共同参画 ・女性のキャリアアップ など	・ワークショップ ・グループワーク ・研修会 ・セミナー など
開催主体 市内の企業 事業所、団 体など	派遣経費 講師謝金を 含めた費用 ターゲット別	派遣件数 5件程度 (条件により 変更可能)
開催場所 事業所内の 会議室など	実施期間 当該年度内	お問合せ 申込み 下記センター まで

山口市男女共同参画センター 様めぼぼ
〒753-0274 山口県中津 下町5-3
TEL 083-822-2244 FAX 083-822-2245
HP <http://www.y-gjc.com/> Facebook [こちら](https://www.facebook.com/y-gjc)

おんなの目 おとこの目

5月に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が成立し、男女の候補者ができる限り均等になることを目指すこととなった。

一歩前進とはいえ理想に近づくにはまだまだクリアしなくて

はいけない課題が多そうだ。

現実問題として、候補者になろうと思えば、まず供託金を用意しなければならないし、ポスター、選挙はがき、街宣車など政策を訴えるために必要なものも作らなくてはならない。

運良く当選しても、得手不得手にかかわらず、様々な政策の勉強も必要不可欠だ。また、家族のある人は、家族の理解も必

要となるだろう。

せめて、資金面だけでも安定したものが確立されていればいいのだが、日本では一般的に政治献金をする習慣が希薄なところがあり、また政治資金規正法で政治献金を制限している部分もありハードルは高そうだ。

法律の主旨を多くの国民が理解し「女性の意見が届く社会」が実現することを願う。

P3のクイズの答え「このカップルの夫は保育士です。あなたの中に女性の職業、男性の職業という先入観はありませんか。」